

山科教会ニュース

2020年10月 第356号

「すべてのいのちを守るため」の使命を果たしていきましょう。

司祭 瀧野 正三郎

9月のトピックス

● 新信者の集い(8月29日)

入門講座でご指導いただいたユン神父様を囲んで、新しく信者となられた皆さんが集われました。教理の勉強に励んだ日々を語り合い、ユン神父様による『ゆるしの秘跡』を受けられました。

出席された方からコメントをいただきましたので記します。

去る8/29に入門講座をご一緒した方のうち数人が、今は衣笠の教会に異動しておられる尹(ユン)神父様から受洗後のゆるしの秘跡の実地講習をいただきました。コロナ禍でも皆さんお元気そうで何よりでした。尹神父様も洛北ブロックでのネットミサ配信の視聴者が多かったとお元気そうでした。遠方から駆けつけていただき、丁寧に聞いていただき、感謝しています。

石田 健 様

先日は有り難うございました。ゆるしの秘跡では緊張しました。初めて教えをいただいたユン神父様には、本当に感謝しております。また聖書のお話が聞きたいです！

河嶋 操 様

神父様のゆるしの秘跡、とてもありがたかったです。お世話になりました。

畑 洋子 様

ユン神父様から「神様の贈り物」と題して新信者の皆さん、そして山科教会の皆さんにメッセージが届いています。添付致しますのでご覧ください。

● 敬老のお祝い



敬老の日を迎えられた皆様、おめでとうございます。

コロナ禍によりお祝いの催しができず残念でしたが、教会から思いを込めたメッセージカードを、夏目喜代子様手作りの葉を添えてお贈りしました。対象者は58家族、67名でした。

9月13日には、瀧野神父様が皆様のご健康をお祈りし、非公開ではありましたが、ミサをささげてくださいました。

● 国際平和デーに全国で平和を祈る鐘打式(9月21日)

例年この日、ニューヨークの国連本部において、日本から贈られた「世界平和の鐘」を事務総長が鳴らす式典が行われています。同日(日本時間9月21日)に全国の鐘やベル、太鼓などを鳴らして平和を祈り、共に思いと時間を共有したいとの意向から、『国際平和デー日本委員会』が全国の寺社教会や公園に呼び掛け、京都教区でも大塚司教様を通じて協力が呼び掛けられました。

立派な鐘塔を持つ山科教会もこれに賛同し、同日正午から1分間鐘を鳴らし、世界平和を皆さんと共に祈りました。



『評議会』からのお知らせ

<京都司教区からの通知>

☆ミサ・集会祭儀の再開が決まりました

「ミサ等教会活動の再開に向けての措置(その7)」により、山科教会では10/4からミサを再開します。再開にあたり、「ミサ等、集会を行うときの守るべき要件」に基づき新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めなければなりません。「ミサ等教会活動の再開に向けての措置(その7)」、「ミサ等集会を行うときの守るべき要件」を添付しますので、皆さん熟読ください。

<洛東ブロック司牧チームからのお知らせ>

☆現在実施中の講座等について

山科教会においては、毎週 次の講座を開いています。

信徒養成講座(聖書を読む会)	火曜日 10:00	Sr. ロサ
レクチオ・ディヴィナ	金曜日 ミサ後	菅原神父様
回勅『ラウダート・シ』の読書会	第2、第4土曜日 15:00	瀧野神父様

※回勅『ラウダート・シ』の読書会は、単発回の参加もできます。回勅本はお貸しできますが、なるべくご持参ください。

<役員会、評議会からのお知らせ>

☆敬老のお祝い行事を見直しました

コロナ禍でミサ・集会祭儀が休止となっている状況から、9/13に予定していました祝賀会を止む無く取りやめました。当日は、対象の方のために瀧野神父様にお祈りいただくと共に、手作りの葉を添えお祝いの言葉をお贈りしました。

☆屋外トイレの改修を検討します

現在、司祭館南側の屋外トイレは、障害のある方が安心してご利用いただける状態ではありません。バリアフリー化を重点に、屋外トイレ改修の検討を始めています。

☆平日も聖堂は開放しています

聖堂は従来通り午後4時まで開放しています。

消毒作業等のため、聖体訪問の際にご利用いただける座席を限定しています。その他細かな取決めがあります。詳しくは、聖堂内の案内をご覧ください。皆様のご協力をお願いします。

★山科教会からの「お知らせ」は、毎週日曜日に更新されます。聖堂内のホワイトボードに掲示すると共に、聖堂後方のテーブルにも置いてありますのでお持ち帰りください。

最新の情報は山科教会ホームページ(<http://www.cyamach.sakura.ne.jp/>)をご確認下さい。

また、京都司教区のホームページ(<http://www.kyoto.catholic.jp/>)もご参照ください。

<庶務部からのお知らせ>

☆来年のカレンダーと手帳の申込み受付は中止します。必要な方は、各自でご購入くださいますようお願いいたします。河原町教会地下のサンパウロ京都宣教センター(TEL 075-256-9678)にお問い合わせください。また、インターネット通販でも購入できます。

※10月の予定は、紙面の都合から別紙としています。ご確認ください。

<山科教会鐘塔から鐘の音が響きました>

『国際平和デー』(9/21)に、久しぶりに鐘塔の鐘が鳴らされました。正午から約1分間(15回)、清々しい鐘の音が秋の気配が広がる青空に響きわたりました。

世界平和を祈ると共に、一日でも早いミサの再開をおいのりました。

山科教会の鐘塔から寄せ鐘が響く日を、心待ちにしましょう。

※10/4の主日ミサからミサ・集会祭儀の再開が決定しました。

発行責任者

河原町・伏見・山科・桃山共同宣教司牧

洛東ブロック司牧チーム

編集:カトリック山科教会 広報部

住所: 〒607-8415

京都市山科区御陵中筋町3

TEL: 075-581-0719

FAX: 075-581-0760

URL: <http://www.cyamach.sakura.ne.jp>

2020年10月の予定

- 「感染防止の取組み」から、主日のミサを日曜日と翌金曜日の2回行います。聖堂内での密集を避けるため、分散してミサにあずかるようにしてください。日曜日と翌金曜日は同じ主日ミサですので、両方のミサににあずかることは避けてください。

日	曜日	教会暦	行事予定	※都合により日程及び時間の変更もあります
1	木			
2	金		ゆるしの秘跡 9:00~9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ 9:30
3	土			
4	日	年間第27主日	主日ミサ 9:00 瀧野神父様	
5	月			
6	火		ミサはありません	信徒養成講座 10:00
7	水			
8	木			
9	金		主日ミサ(年間第27主日) 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
10	土			回勅『ラウダート・シ』の 読書会 15:00
11	日	年間第28主日	主日ミサ 9:00 菅原神父様	
12	月			
13	火		ミサはありません	信徒養成講座 10:00
14	水			
15	木			
16	金		主日ミサ(年間第28主日) 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
17	土			役員会 14:30
18	日	年間第29主日	集会祭儀 9:00 Sr. ロサ	
19	月			
20	火		ミサはありません	信徒養成講座 10:00
21	水			
22	木			
23	金		主日ミサ(年間第29主日) 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
24	土			回勅『ラウダート・シ』の 読書会 お休みします
25	日	年間第30主日	主日ミサ 9:00 菅原神父様	評議会(予定)
26	月			
27	火		ミサはありません	信徒養成講座 10:00
28	水			
29	木			
30	金		主日ミサ(年間第30主日) 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
31	土			

※当面の間、例会、部会、日曜学校はお休みします。

※変更等が生じた場合は、毎週のお知らせ、山科教会ホームページ(<http://www.cyamach.sakura.ne.jp/>)、聖堂後方のホワイトボードに掲示等でお知らせします。

10月は「ロザリオの月」です。いつもより多めにロザリオを祈ることにしましょう。

●ユン神父様から新信者の皆さんに「神様の贈り物」と題して、メッセージをいただきました。

神様の贈り物

新たに洗礼を授けられた兄弟姉妹の皆様へ・・・

何事も時があります。皆様はご多忙にも拘わらず熱心に教会に通い、教理の勉強に励まれました。

ご聖誕の徹夜祭には、大きな洗礼の恵みを与え喜びの日となるところが、コロナウイルスによって、教会の全ての活動がほぼ中断され、私たちの期待と希望と喜びを、一瞬であるにせよ止められてしまいました。

一か月、二か月、三か月・・・ つづくコロナウイルスの禍による自粛の日々を、どんなに気を揉まれ、焦燥感に囚われていたのではと思い巡らしました。待つことに疲れて、放棄しようかと誘惑に陥ったかも知れませんね。そんな中でも神様に向かい、変わらぬ信仰と忍耐、教会共同体の奉仕と暖かい心と支え、分かち合いは、新しい生命(4名)を誕生させました。

山科教会の信者の皆様には、お別れの言葉も、感謝の気持ちを表す機会もなくお別れして、心残りでした。しかし、山科教会から4名の洗礼の知らせを衣笠教会で受けた瞬間、真っ先に「あ！神様はすべてを導き、そして約束された贈り物をくださったのだ」と、喜びに包まれました。

心からのお祝いの言葉を贈ります。そして、最後まで耐えて乗り越えられた新家族に感謝します。それに、山科教会の兄弟姉妹の皆様にはご苦労様でした。洗礼は神様の贈り物です。信じて願い従う人にくださる神様の贈り物です。この贈り物をよく活かし、神様の子女として他の人にも贈り物を分け与え伝える使命も与えられていることを、お忘れないように。

4名の洗礼恵みと実りは、ご家族または山科教会共同体の暖かさの雰囲気、奉仕の精神とつながっています。新たに入信された兄弟姉妹の皆様も、このような雰囲気を肌で学び知った故に、忍耐と愛で果実を実らせられることが出来たのです。共同体の一致、そして一人ではなく、二人でもなく、三人が力を合わせて互いに助け合い、分かち合い、導かれるとき、私たちはどんなことも成し遂げられることが出来るのです。

この世での辛く、困難を味わうことがあっても、喜びと希望の中で主がお立てになった秘跡(典礼)生活を通して、これらを克服し乗り越え、主の子女として新しい生活を始めることが出来るのです。“コロナ”という一つの躓きの石に引っ掛かり倒れることなく戦いに勝った、新しく洗礼に与えられた皆様は、神様に選ばれた人たちで勝利者であります。それに、この喜びは誰にも奪い取られることはありません。

重ねてお祝いの言葉と感謝を申し上げます。これらは、全て主の内において、幸福で平和でありますように祈ります。

“いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、どんなことにも感謝しなさい”

(1テサロニケ5章16-18)

ユン・サン・ホ ヨハネ神父

